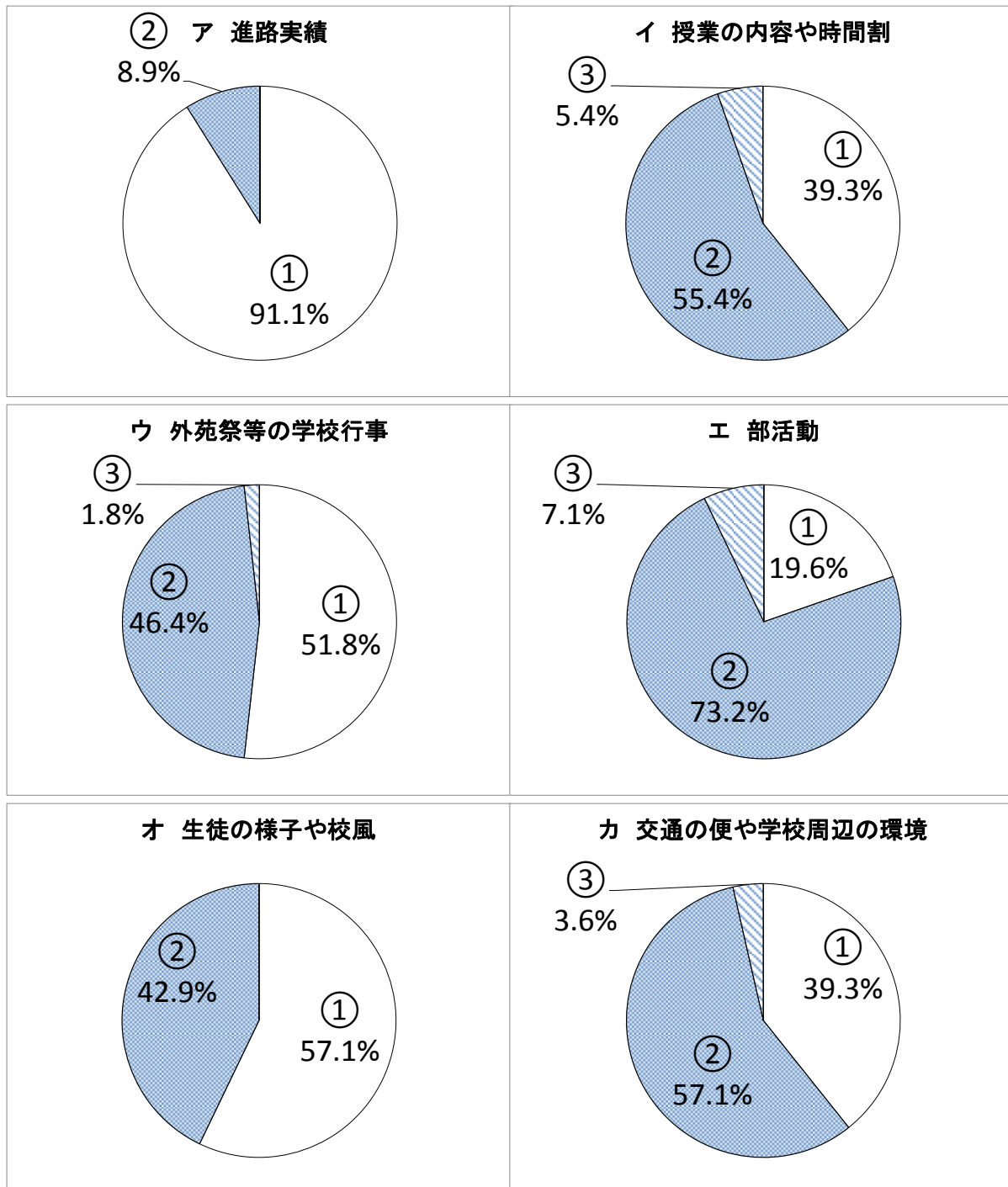


I 青山高校を志望する際に生徒・保護者が考慮した事柄

質問1 次のそれぞれについて、生徒・保護者が青山高校を志望する際にどの程度考慮したと思いますか

①大いに考慮した ②ある程度考慮した ③あまり考慮しなかった ④全く考慮しなかった



○自由記述

外苑祭は青山高校の最大の魅力だと思われるので、外苑祭が質のもっと高いものになるようにさまざまな視点で最大限の支援を惜しまない態勢が良いと思われる。

⇒生徒、保護者の選んだ上位3位以内に「外苑祭」はなく、教職員とのギャップが見られます。

進学塾、内部生や卒業生の口コミなど。

中学校の先生や塾などの先生、級友の評判。

卒業生や在校生の話もある程度考慮したのではないかと思います。

青山高校に兄弟を持つ保護者や先輩・友達同士の話。

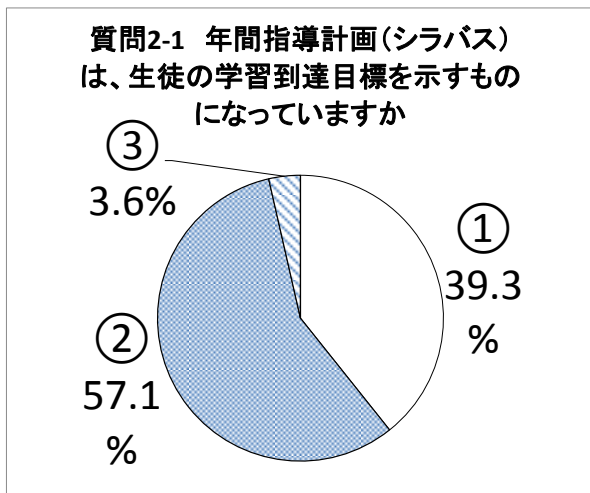
校長の教育方針と人柄。

II 授業・講習について

○年間指導計画(シラバス)について、どのように捉えていますか

質問2-1 年間指導計画(シラバス)は、生徒の学習到達目標を示すものになっていますか

- ①当てはまる ②ある程度当てはまる ③あまり当てはまらない ④全く当てはまらない



○自由記述

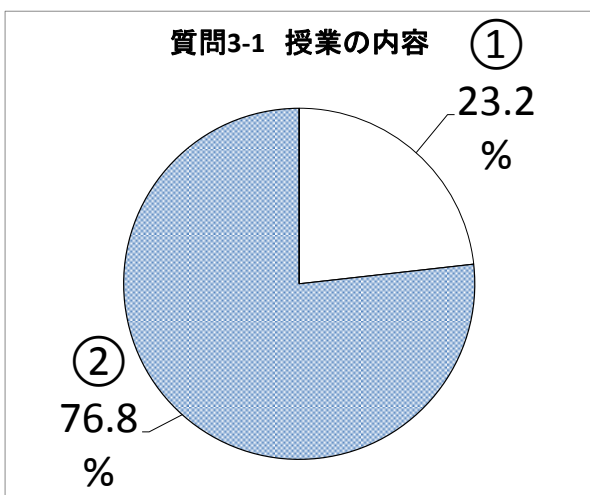
目の前の学習、課題に集中しているから配布はされているものの、じっさいにどの程度活用されているかがわからないため。

⇒ 学習到達目標を明記し、授業において「学習のしおり」を活用することは、校長の経営方針です。全教員が、全ての授業において活用し、授業のねらいや到達目標を明確に生徒に示すようお願いします。

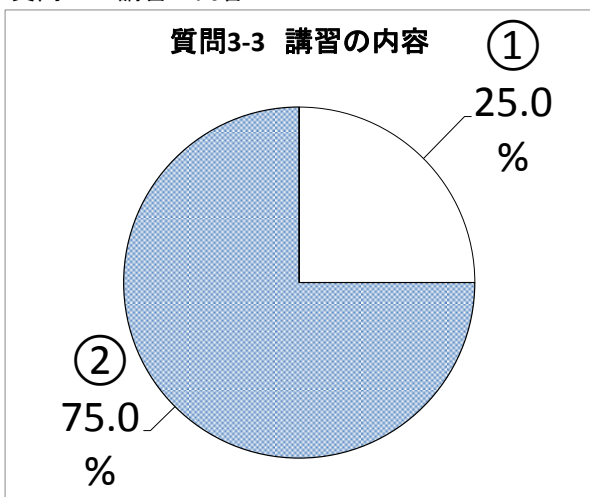
○生徒は、次のそれぞれについて、どの程度満足していると思いますか

- ①大いに満足 ②ある程度満足 ③あまり満足していない ④全く満足していない

質問3-1 授業の内容



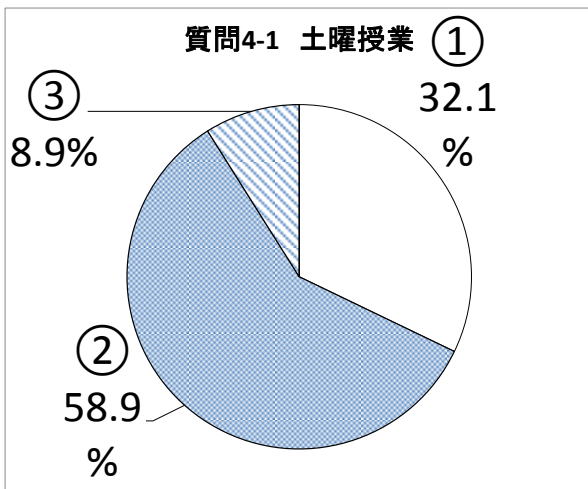
質問3-3 講習の内容



○生徒は、次のそれぞれについて、どの程度役立つと感じていると思いますか

質問4-1 土曜授業

- ①大いに役立つ ②ある程度役立つ ③あまり役立たない ④全く役立たない



○自由記述

単位数が多ければいいとは思わない。能力の高い生徒ほど土曜日は自主的に活動させた方が伸びると思う。働く側としても平日に休めても、家族の都合と合致しない。土曜授業がなければ青山高校は働き易さ最高と思う。

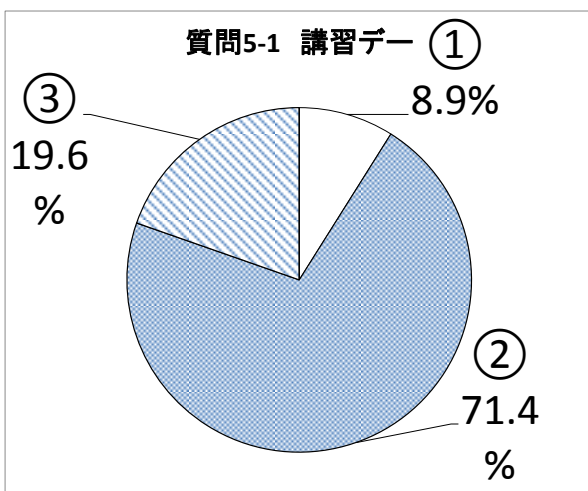
授業内容をきちんと理解し、その内容を身に着けるための予習や復習の時間を確保できるよう、土曜を休みにして、しっかり体調管理をしつつ勉強できるようにすべき。

講習デーへの不満が土曜授業そのものにも向いていると感じる。そもそも重点校外し危機時の、臨時対策だったはず。進学実績が着実に伸びている今、生徒の学校不信のタネとなっている講習デーは見直すべきでは。

70分でなく50分授業4時間にして、わざわざ土曜授業と言わずとも、通常の授業日として土曜日に登校してただけというような、特別扱いではない感じにならないか。

休みが少なく生徒が疲弊している。回数を減らすことを考えてもいいと思います。

質問5-1 講習デー



○自由記述

生徒が自由参加で、好きな講座をとるならば意義が増すと思う。働く側としても土曜授業がなければ大変働き易いと思う。(2)

単位数に関係なく、目的がはっきりしていない。1年生の人間と社会には必要であるならば、2、3年生はやらなくてよい。

散発的に講習デーをあてるのではなく、土曜授業を詰めて設定すればよいのではないのでしょうか。土曜授業を消化したあとに連続して講習デーの土曜日を設定または設定しないという形はどうでしょう。

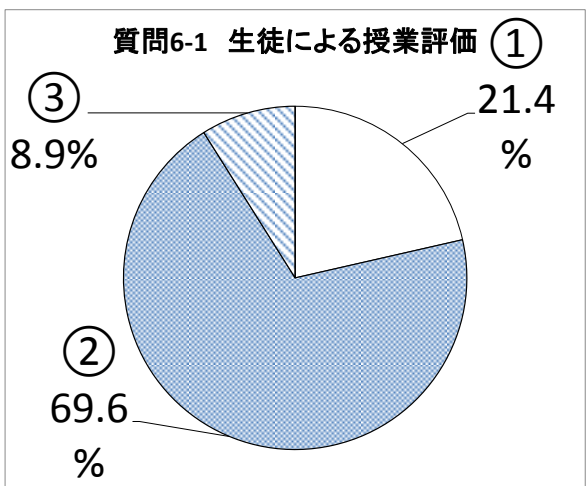
実態を見る限りやる意味を感じません。きちんと生徒を休ませて、部活動なり家庭学習なりの時間に当てる方が有効だと思います。授業のない土曜日に何らかの講習が入っていることを学校選びのポイントにはしません。(4)

1学年や2学年でもしっかりした計画を立て、教員も生徒も目的をもって行う。

講習ではなく、実質授業になってしまっている。

⇒ 土曜授業の必要性は揺るがないものの、講習デーについては、4年前までは年8日実施していましたが、生徒・保護者・教職員の要望を踏まえ、平成28年度は年6日、29・30年度は年4日、31年度は年3日に減じています。

質問6-1 生徒による授業評価



○自由記述

特に負の意見に対して書いても無駄だと思わせないように、生徒からの意見に誠実に返答する。手足が動いていることと、頭が動いていることは同じではありません。アクティブラーニングの効果を検証してから、評価項目を考える変えるべきだったと思います。

模試や考査の結果、授業での取り組みを見ていれば、生徒が今のような力が足りていないかわかる。その不足している力をつけられるように柔軟に授業内容を変えていけばよい。

クラス別の集計が見たい。

3年生で自分が選択していない授業に解答しないと次に進めない様子でした。選択した授業のみへの解答に変更していただきたいです。

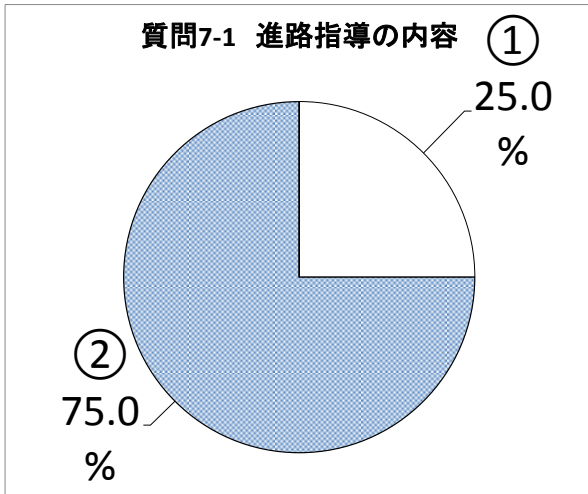
⇒ 生徒による授業評価の実施は都の施策です。どのようにすれば、よりよい授業評価になるかについてご意見をいただきたいです。また、今後、クラス別、教員別の評価結果の公表についても検討します。アンケートシステムの改善にも取り組みます。

Ⅲ 進路指導について

○生徒は、次の内容について、どの程度満足していると思いますか

- ①大いに満足 ②ある程度満足 ③あまり満足していない ④全く満足していない

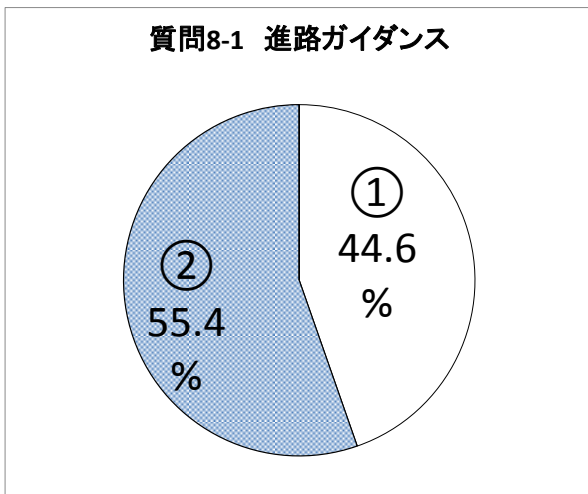
質問7-1 進路指導の内容



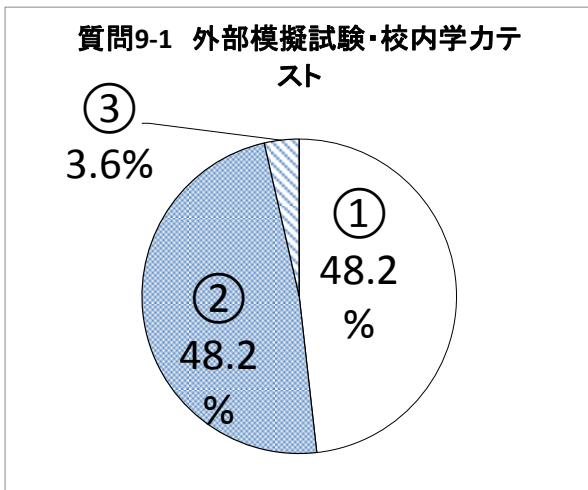
○生徒は、次のそれぞれについて、どの程度役立つと感じていると思いますか

質問8-1 進路ガイダンス

- ①大いに役立つ ②ある程度役立つ ③あまり役立たない ④全く役立たない



質問9-1 外部模擬試験・校内学力テスト



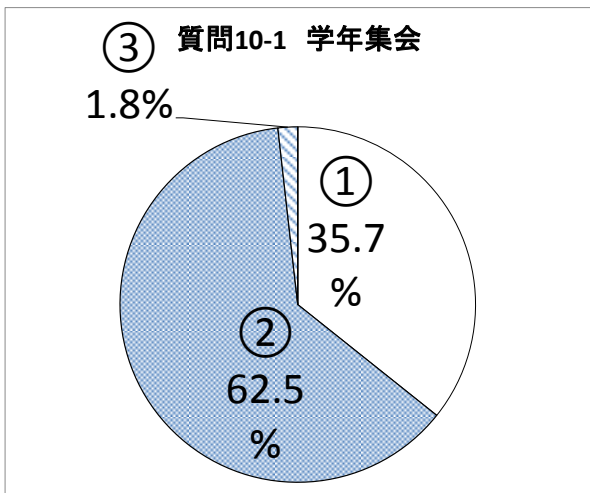
○自由記述

外部模試は、やりすぎです。解き直しをする時間がない。3年の6月の校内学力と1年の校内学力の時間は授業にすべきです。テストは学習したことを確認するためにやるものです。

すべてが、役に立たないわけではない。3年生の早い時期の模試は必要ない。校内学力テストもその分授業をしたほうがいい。力がついていなければテストをしても意味がない。

⇒ 学力テストは外部模試では測れない生徒の学習到達度を見極めるために不可欠であり、教員の力量アップにも極めて重要です。今後、その実施回数を精選することは否定しませんが、一層の質的向上を図ることが校長の方針ですので、ご理解・ご協力をお願いします。

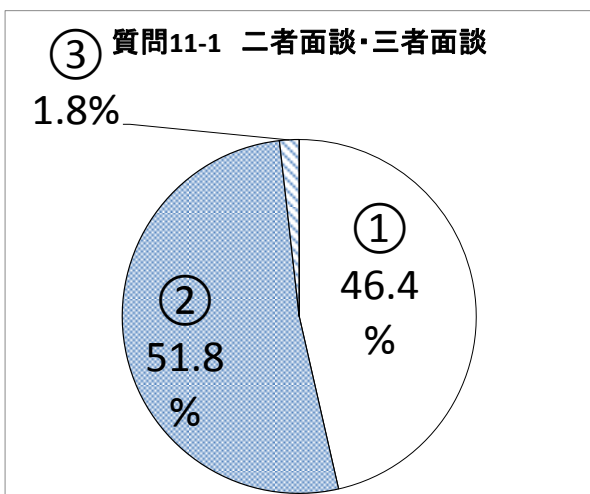
質問10-1 学年集会



○自由記述

生徒自身の自覚、意識改革が大切だと思う。そのために役に立つと思わせる実のある内容と話術が必要だと思う。

質問11-1 二者面談・三者面談



○自由記述

3年間にわたって、どの時期に何を話題とした面談をするという予定がきちんとあった方が、学年間やクラス間の差がなくなるのでは？

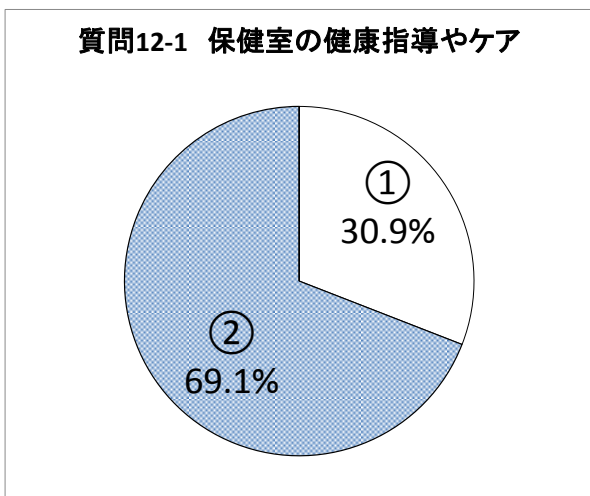
⇒昨年度も、今年度も、保護者対象の学校評価の自由記述に、一度も面談がなかったという指摘が複数ありました。全てのクラスで、計画的に面談が実施されるよう、平成31年度の学校経営計画にも二者面談・三者面談の実施を明記しますので、各クラス担任は必ず実施してください。また、3年間を見通した面談の内容や実施時期については、今後、校内での経験値をまとめて、指針となるものを策定していきます。

IV 心身の健康指導やケア等について

○生徒は、次のそれぞれについて、どの程度役立つと感じていると思いますか

- ①大いに役立つ ②ある程度役立つ ③あまり役立たない ④全く役立たない

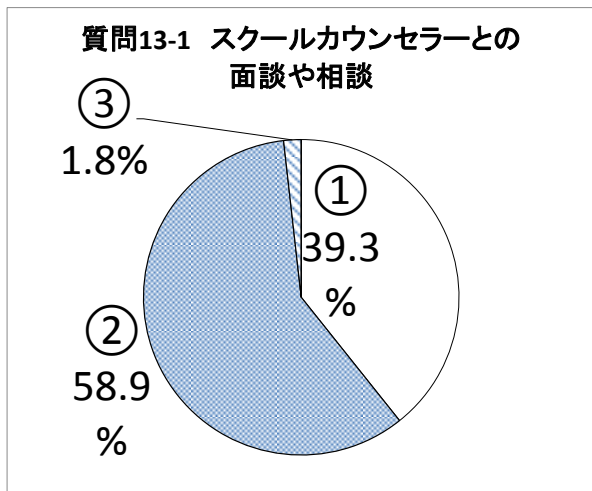
質問12-1 保健室の健康指導やケア



○自由記述

各担当が責任感のある仕事をする。

質問13-1 スクールカウンセラーとの面談や相談



○自由記述

お世話になっているので、役に立っていると思うのですが、そこにくと病名をつけられる印象がある。(病名をつけて分類する)また、カウンセリングで話す話は、たとえ教員や親にも話してはいけないと思う。

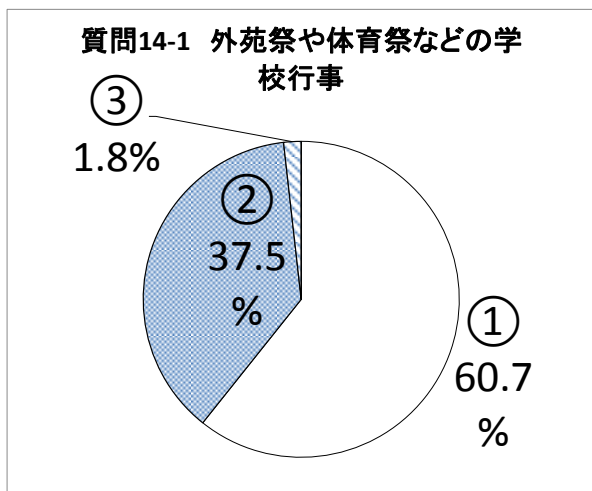
⇒カウンセリングの情報を教職員が共有し、生徒や保護者の悩みや問題の解決につなげていくことは、教職員の職責の一つであることを理解してください。また、このことは、校長の学校経営方針であることも理解してください。

V 学校行事・部活動について

○生徒は、次のそれぞれについて、どの程度満足していると思いますか

- ①大いに満足 ②ある程度満足 ③あまり満足していない ④全く満足していない

質問14-1 外苑祭や体育祭などの学校行事

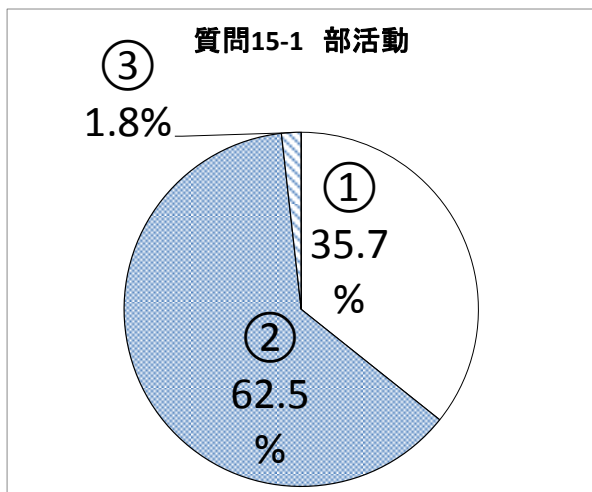


○自由記述

外苑祭。体育祭。修学旅行など満足。マラソン大会が中途半端になっているのは、満足していない。50年以上続く青山高校の伝統行事。体育科まかせにせずちゃんと全力で走らせ、心身共に鍛錬させて欲しい。

⇒マラソン(持久走)は授業の一環で行うものです。体育以外の授業の確保も重要なことであり、マラソンは半日程度の行事とすることを校長決定しています。何もよみならず、授業を確保することを優先してのことです。決定後も異論があることは残念ですが、今後もこの方針で運営していきます。

質問15-1 部活動



○自由記述

活動がこれだけ盛んなのに、設備が不十分。グラウンドは劣悪。石などあり、身体はもちろんボールのバウンドにも影響する。早期に芝生化してほしい。体育館も空調が悪く、更衣室も劣化している。改善してほしい。

⇒施設設備の改善に向けての計画的な取組は、教職員で共有してきたつもりですが、理解が十分でない部分があるようです。教育を提供する側の立場であるという意識をもって、交渉に当たる校長を支えてくださるようお願いいたします。

自由記述 学校をよりよくしていくために、今後どのようなことが必要か

○今後の方向性

ただの受験校になるのではなく、入学した生徒にインストールされるような青山の文化性とポリシーのある進学校の文化が生徒の中で継承されていくような校風を作り出すことが将来にわたって青山を青山たらしめんとする財産になると思う。学習することはまずは自分でやるのが基本であるというスタンスを持たせることが必要。与えられるのをただ待つ姿勢学習では将来困ることになる。

多様な意見を聞き、柔軟・適切な判断力や対応力をもち、生徒・保護者・学校全体として効果が上がるようにする。

校長の経営方針の下、教職員が一丸となって授業改善の努力を不断に継続していくことである。

○校内美化

今以上に校内美化に力を注ぐことで、より良い学校になっていくのではないかと考えている。

清掃指導の強化 学習環境の美化 トイレの充実

○生徒指導

自由な校風を大切にすると同時に、基本となる生活姿勢をしっかりと持たせること。

生徒部が進学校としての生活指導、行事の委員会指導、生徒会活動の指導の在り方を確認し、組織的に取り組む。

社会的には大人と同様の権利を与えられ始めている一方、生徒は割合幼稚である。生徒は生徒の心の成長をはかること。

生徒の声に耳を傾ける。生徒に対して過保護にも放任にもせず、うちの生徒の状況にあった対応をする。

○教育力の継承

指導に長けた教員が異動することで、教科指導や進学指導の力が下がることがないようにするべき。学年ごとにやり方が異なるのは構わないが、前年やその前にどのようなことをやって結果がどのようであったから、この学年はこのようにやる、というような指導方法の共有や応用が、全体にもっと残っていくといいと思う。

自らが学ぶのはもちろんだが、学校で若い先生を育てて、教科や分掌の人材を先々に渡ってうまくつけていくことが必要と考える。

場当たり的な指導や行動ではなく、数年後の将来を考えながら、生徒指導や学校運営を考え、行動する教員が増えること。

現状に満足せず、教員や生徒および保護者等と連携を取りながら必要要件を整理し次年度に活かしていく。

教科会の充実。学年ごとに指導の方針やテキストなどが決まっていくため、良い取り組みを一部の先生でしか継承することができない。今のように議題が下りてきて話し合うだけでなく、1年間を振り返り、指導方針やテキストなどの良かった点、効果を上げた指導法などを全体で共有する時間をもつことも必要と感じる。

○研さん

教員同士の情報の共有、意見交換などの交流。教育の資質向上のための教員の研鑽。

授業の質を高めることに尽きると思います。

新指導要領を見据えて、校内研修の充実

○進路指導

HR担任、教科担任、進路部も進路について不勉強なため、生徒を見ないで偏差値で進路指導している。研修会レベル(予備校のバイアスが入る)ではなく、他の進学校との意見交換や、大学説明会などに行き大学の教員と対話をするべき。

保護者も生徒も進路実現を第一に考えていると実感します。保護者との連絡を更に密にすると共に授業改善だけでなく、外部模試のさらなる有効的な活用を見出していく必要があると思います。

○施設設備

冷暖房、水回り設備の改善。来賓用のトイレぐらいシャワートイレに。個人面談をする場所がない！面談室(個室)がいくつかあると担任は助かる。

トイレの全面的な改修。最近では冬でも悪臭がすることが増えています。女子トイレ個室にある消臭剤(芳香剤)は何年も交換された形跡がありません。現一学年以降の生徒はe-Portfolioやマナビジョンなどインターネットを頻繁に使う必要があるため、wifi環境の早急な整備を希望します。スマートフォンを持たない生徒も校内で自由にe-Portfolioの入力ができるパソコン整備の必要性も感じています。

職員玄関前の雨漏り(天井部分？の腐食)や正門の修繕、廊下の手の届かない部分の埃やゴミの除去など、目立つ部分をまず改善できれば、印象が変わると思います。どれも予算が必要なことなのですぐには難しいかもしれませんが…。

グラウンドの全面人工芝化を初め、ハード面の整備が急がれます。中学生の印象をよりよくしていく必要があると思います。

空調、トイレその他校内設備の充実。

⇒施設設備の改善については、保護者の皆様にも実施計画や実施状況をお知らせしていますが、教員の理解が進んでいないことは残念です。また、所管庁に対して客観的な資料により要望していくという校長の方針にご協力いただきたいと思います。

○労働環境

仕事の内容などを見直し、ゆとりをもって仕事ができるよう環境整備をする。

施設設備の改善や、生徒の公的支援制度の利用促進、教員の働き方の改善等を進めていくことが必要であると考えている。

自習室対応等で副校長先生の勤務時間が長時間に及ぶので、副校長を2人配置する。

教員の持ち時数を減らす。または、科の教員を増やす。入試問題の自作作成をやめる。多忙を極める職場は、敬遠される。学校に、進学重点校によりよい人材が集まるよう職場環境を見直すことも必要だと思う。青山高校の良さを青山高校らしさを大切に。進学実績は大事だがそれだけではない。

○生徒募集・学校ホームページ

今もやっていますが、社会で活躍している人を招いて在校生に講演を行い、あわせて受験生に向けてアピールする。HPIに部活動や委員会活動の詳細(文化系も)や学年行事(1年のビブリオバトル)を載せる。今の形式だと時系列にフローして時間がたつと見にくくなるので、“ニュース”以外のアーカイブを作る。

○組織体制

教職員間のコミュニケーションの活性化、情報共有のしやすさ。お互いに声をかけやすい職場の雰囲気醸成。

職層に基づいた組織運営 分掌業務に対する協力的体制づくり

進学に重点を置く学校で、ある程度経験のある教員の確保。学年集会の回数を増やし、生徒が学習・生活・進路について考える機会を多く設ける。

これはどの学校でも言えることだが、教員一人一人の負担を軽減するため、教員数を増やす。部活や進路関係について外部の人を頼るのではない。あくまでも日頃から生徒と近い距離にいる大人、教員数を増やす。

生徒がより充実した学校生活を送ることに、企画室の立場から貢献できる様、教員との連絡、連携を一層高めていきたいと思います。

○都の施策や校長の経営方針に対する意見

年度途中で、学校で一人とか、教科で一人は必ず出てほしい、というような出張命令が、教育委員会からよく入りますが、計画性がなく、授業をどう考えているのか、生徒指導、授業を第一に考えている現場に対して、自分達の研修優先で、授業を終わらせてからかけつけるような遅刻も許さないような対応は改めてほしい。本務に専念できるよう、不要な事務作業を増やさないでほしい。

自らの信念に基づいて仕事をしているつもりであるが、教育委員会や管理職から、教科面で「これは必要なのではないか」と思われることを強制されることが非常に辛い。例えば「オンライン英会話」「Tokyo Global Gatewayへの参加」「悉皆研修」などである。ロボットや歯車のように、私自身の経験や考えや勉強していることが無視され、ただ使われている気がして、仕事の中でもっともストレスを感じる点である。

アンケートの取り方に問題がある ③または④を選ぶとすかさず改善意見を求められる これでは①か②を選択する人が増える。

今年になって朝の打ち合わせが始まり定例化され、放送での指示が増えた。これは今までできていた学校の組織的・計画的な運営がなされていない証拠である。なぜそうなったのか、その根本原因を探り、取り除くことが必要ではないか。

学カテストの実施方法を再考すべき 模試を頻繁に実施している学校で校内作成の模試を重ねて実施する必要性がわからない。

⇒異論はあるでしょうが、校長決定した方針を踏まえ、建設的なご意見の提案やご協力をお願いします。また、東京都の職員ですので、都の施策については、着しく合理性を欠くことがない限り、その効果を最大限にする取組が求められると考えます。

○その他

青山高校は生徒にとっても職員にとっても満足度の高い学校だと思う。土曜の活動を改めればよりよくなると思う。

1・2学期期末考査後と外苑祭の前はきちんと授業をすべきです。青高はこの期間の授業が少なすぎます。「講習デー」やら「文化祭準備期間の短縮」などの見かけの体裁ではなく、実をとるべきです。ビブリオバトル2回必要ですか。僕らは授業をしてなんぼでしょう。この議論なくして、新カリの単位数の話もおかしいと思います。この期間の授業で授業数はだいぶカバーできるはずです。

授業時数の確保(学校行事の精査)。

⇒マラソン大会の見直しの背景の一つにこうした実態があります。今後は、定期考査後の特別時間割についても検討していきます。